

令和7年度 倉敷市教育委員会との懇談会

令和7年10月16日 市庁舎10階大会議室

令和7年度倉敷市PTA連合会と倉敷市教育委員会との懇談会を倉敷市役所10階大会議室にて開催しました。教育委員会から永野生涯学習部長はじめ7名、倉敷市PTA連合会から千田会長以下10名、倉敷市公立幼稚園・こども園PTA連絡協議会から佐藤会長以下3名、事務局3名の計23名にて開催しました。

子どもたちや学校を取り巻く課題は多岐にわたり、その中から特に重要な幾つかの課題を取り上げ、意見交換しました。すぐに解決が難しい問題もありますが、継続して取り組むことで、よりよい方向へつなげるために実施しています。

倉敷市公立幼稚園・こども園PTA連絡協議会

1 幼児における熱中症対策の環境整備について

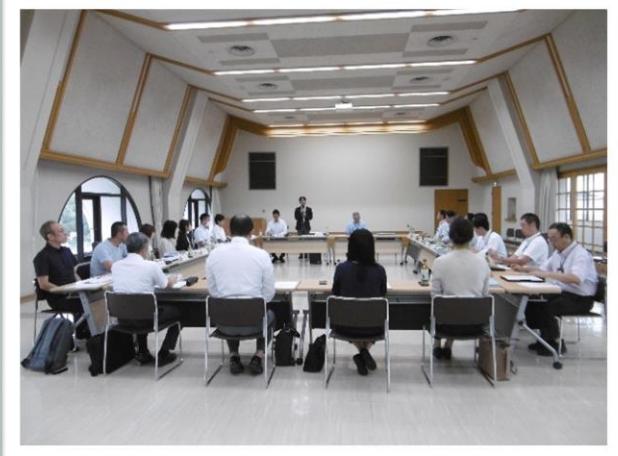
近年の猛暑により園庭での活動に制限が生じており、幼児の安全と発達を守るためにも、タープやテントを設置して日かけを増やす環境整備をお願いしました。

市教育委員会からは、必要な施設があれば、園と相談して要望してほしいとの回答がありました。

2 園児と教職員・支援員の数の適正化について

園児数の多いクラスは担任の負担が増している現状から、担任・副担任制の導入や柔軟な職員配置を求めました。また、教育実習生の採用促進、産休・育休時の補充の早期対応、個別支援が必要な園児や外国籍園児への支援員増員を要望しました。

市教育委員会からは、今年度についても新規採用者を昨年度同様に採用し、幼稚園への配置も維持しているとのことでした。また支援員配置や専門家派遣などの取り組みは進めているものの、人材確保が課題であるとの回答がありました。



3 給食の導入について

幼稚園に給食を導入してほしいという保護者の希望が多いため、まずは年長児が小学校で給食を体験できる機会を設けて、入学前の不安を軽減し、食育や家庭状況に応じた支援にもつなげてはどうかと提案しました。

市教育委員会からは、幼児食の調理方法や配膳補助の人員、食器の準備、栄養士不足など多くの課題があるとの説明がありましたが、PTAとしても可能な範囲で配膳協力する意向を伝え、今後の検討をお願いしました。また、小学校での親子給食の取り組みを参考に、園児が給食に触れる機会をつくれるのではないかとも併せて提案しました。



倉敷市PTA連合会

1 納食費・学校徴収金の公会計化について

次年度から納食費の公会計化等が実施されることに伴い、PTA会費も徴収方法の変更について急な対応を求められ、現場では大きな戸惑いが生じている現状を報告しました。

市教育委員会からは、学校の実情に応じて、学校と保護者間で話し合って決めてもらいたいとお願いされ、徴収方法等について提案していきたいとのことでした。

金銭に関することであり、保護者の利便性や安全面に配慮した方法が整うよう、引き続き協力をお願いしました。



2 学校施設（体育館・プール）の暑さ対策について

市教育委員会から、現状について説明を受けました。体育館のエアコン整備については、今年度10校で実施しているが、必要な断熱化等の改修工事が設計から施工完了まで3～4年かかること、市内の施工業者が限られることなどから一度に多くの学校で進めるのが難しい状況であり、2033年を目指して、できる限り早期に整備が完了するよう進めていきたいとの回答でした。プールについては、改修工事に合わせてプールサイドへのシート設置などを進めているとのことでした。

保護者からは早期の対策を望む声が強く、子どもたちの安全確保のためにもさらに前向きな対応を求めました。

3 部活動の地域展開について

市教育委員会からは、令和5～7年度が改革推進期間（準備期間）で、令和8年度以降段階的に地域展開が進められるという国の工程が示されました。現在、部活動指導員が各中学校で活動しているが、野球・吹奏楽では実証事業を行っており、その結果を踏まえて方針を検討していくと説明がありました。

保護者は地域展開後の費用負担、指導者確保、学校との連携等について不安を抱えていることを伝えました。



4 学校の災害対策について

市教育委員会とは、避難の基準見直しや夏季休業中の対応など、課題や改善点を共有することができました。保護者に対してはハザードマップの確認、家庭でのマイタイムライン作成、備蓄の準備が大切だと示されました。

保護者としては、災害時どのように動くべきか不安があるため、実際の災害に即した「徒歩○車の両方を想定した引き渡し訓練」など、多様な場面を想定した訓練の必要性を提案しました。